



奈良県感染症情報

令和4年第29週(7月18日～7月24日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- サル痘について

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RSウイルス感染症	5.15	(4.03)	↑↑↑	↑↑	↑↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	3.62	(3.88)	↓	↓	↓	↓
3	突発性発しん	0.38	(0.32)	→	↗	↓	↓
4	手足口病	0.29	(0.56)	→	→	↗	↓
5	咽頭結膜熱	0.15	(0.38)	↓	↓	↓	↓

発生状況： **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減：過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↓やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第29週の新型コロナウイルス新規感染者数は9410名と第28週の6507名から急激に増加しています。また、当センターにおける遺伝子解析の結果、BA.5系統が多数検出されています。BA.5系統は感染者数がより増加しやすいことが示唆されていることから、感染拡大が続くことが懸念されます。

奈良県では、ウィズコロナを念頭に、実態に即した対策を行うことにより、感染症予防と社会経済活動の正常化を目指します。

夏休みのシーズンに入りました。県民の皆様には、充実した日常生活を送るために、基本的な感染防止策の継続をお願いいたします。

◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

RSウイルス感染症の報告が増加しています。RSウイルス感染症は、2歳までにはほぼ100%の乳幼児が少なくとも1度は感染するとされています。症状としては、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々ですが、乳児期早期に初めて感染発症した場合は重くなりやすいといわれています。そのため、特に乳児期早期のお子さんがいらっしゃる場合には、感染を避けるための注意が必要です。

❖ サル痘について ❖

【サル痘とは】

サル痘はウイルスによって感染する病気です。一般的には発熱や発疹(ほっしん)、リンパ節のはれ等の症状がみられます。

【症状】

体の部位に関係無く、発疹や水ぶくれなどが発現します。
 その他、発熱、頭痛などの症状が見られる場合があります。
 水ぼうそうなどの他の発疹を生じる病気との区別が難しいことがあります。

【感染経路】

主に感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合(性的接触を含む)、患者と近くで対面し、長時間の飛まつにさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合等により感染します。

【疑う症状がある場合】

サル痘を疑う症状が見られた場合、最寄りの医療機関に相談してください。医療機関を受診する際には、マスクの着用や発疹部位をガーゼなどでおおう等の対策をした上で受診してください

参考：サル痘について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 4 年 第 29 週 7 月 18 日 ~ 24 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ	2 (0.04)				2 (0.20)		
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	175 (5.15)	37 (4.11)	23 (2.56)	48 (6.86)	62 (10.33)	5 (1.67)	
咽頭結膜熱	5 (0.15)	1 (0.11)		3 (0.43)	1 (0.17)		
A群溶連菌咽頭炎	5 (0.15)	3 (0.33)	2 (0.22)				
感染性胃腸炎	123 (3.62)	26 (2.89)	38 (4.22)	11 (1.57)	48 (8.00)		
水痘	2 (0.06)	2 (0.22)					
手足口病	10 (0.29)	1 (0.11)	1 (0.11)	5 (0.71)	2 (0.33)	1 (0.33)	
伝染性紅斑	2 (0.06)	1 (0.11)				1 (0.33)	
突発性発しん	13 (0.38)	5 (0.56)	5 (0.56)	2 (0.29)	1 (0.17)		
ヘルパンギーナ	2 (0.06)	1 (0.11)		1 (0.14)			
流行性耳下腺炎	1 (0.03)				1 (0.17)		
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	1 (0.10)			1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(奈良市1、中和1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2件(中和2)
4類感染症	レジオネラ症1件(中和1)
5類感染症	播種性クリプトコックス症1件(中和1) 破傷風1件(中和1)

❖ 第 29 週のトピックス ❖

◆サル痘の患者の発生について(厚生労働省HP)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_27036.html

◆新型コロナウイルス感染症COVID-19診療の手引き 第8.0版(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男女																					2	6
RSウイルス感染症	男女	7	12	31	20	14	4	4	1													93	288
咽頭結膜熱	男女			1	1	1																5	108
A群溶連菌咽頭炎	男女							1														1	86
感染性胃腸炎	男女		5	10	14	9	7	5	2			4	4	1	1							62	2200
水痘	男女		7	11	7	6	5	8	2	2	1	1	4	1	6							61	1970
手足口病	男女			1																		2	23
伝染性紅斑	男女																					8	79
突発性発しん	男女			3	3	2																2	49
ヘルパンギーナ	男女					1																1	4
流行性耳下腺炎	男女			3	4	1			1													8	168
	男女			4	4	1																5	131
流行性角結膜炎	男女			1																		1	20
	男女											1										1	10
急性出血性結膜炎	男女																					1	11
細菌性髄膜炎	男女																					1	11
無菌性髄膜炎	男女																						
マイコプラズマ肺炎	男女																						
クラミジア肺炎	男女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

